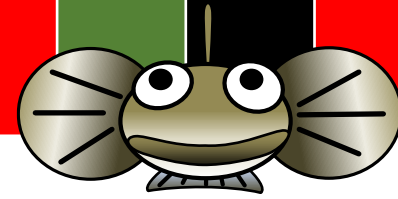


第3回



江戸前勉強会2022

- はじめに

「第2回の振り返りと、参加の皆様について」

(古川恵太)

2022年12月9日 19:00 - 20:30

まもなく始まります。

- 話題提供

生き物生息場づくり (佐々木淳さん 東京大学)

水産・漁業の視点 (児玉真史さん 水研機構)

生物モニタリングについて

(風呂田利夫さん よくする会・おせっ会)

- 意見交換

- おわりに



Youtube
東京湾再生
ハゼ博士



Webサイト
coastcard.jp

江戸前勉強会2022



はじまりました！

共催(予定を含む):

東京湾再生官民連携フォーラム(モニタリングPT、窓PT、江戸前PT、生き物の生息場づくりPT他)

東京湾の環境をよくするために行動する会、
東京海洋大学江戸前ESD協議会、
東邦大学東京湾生態系研究センター、
ベルmontフォーラムCOAST Cardプロジェクト

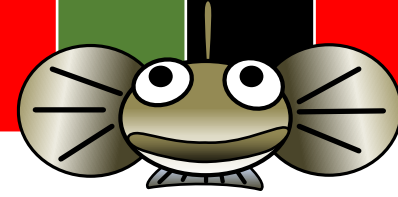
協力:

東京湾再生推進会議モニタリング分科会

ご参加のみなさまへ

- Zoomでの開催に並行して、YouTubeでの公開をいたします
- 勉強会の内容を録画し、後日公開させていただきます
- ご発表、ご発言については、個人の立場でお願いします(所属機関の見解といたしません)
- 本勉強会の成果を他で引用する場合には、発表者が特定されない形としてください(チャタムハウス・ルール)
- 楽しく、未来の東京湾のために議論いたしましょう
- 発言の時以外はミュートでお願いします。

第3回



江戸前勉強会2022

- はじめに

「第2回の振り返りと、参加の皆様について」

(古川恵太)

- 話題提供

生き物生息場づくり (佐々木淳さん 東京大学)

水産・漁業の視点 (児玉真史さん 水研機構)

生物モニタリングについて

(風呂田利夫さん よくする会・おせっ会)

- 意見交換

- おわりに

江戸前勉強会2022 ねらい

- 東京湾再生のための行動計画（第3期）に向けた期待
- みんなが協働し東京湾再生を盛り上げていくためにはどうしたら良いのか

第1回：計画
第4回：アクセス

めざすべき東京湾の姿を描こう

ヘドロのない海を目指そう
海辺へのアクセスを確保しよう

第2回：モニタリング
第3回：生息場づくり

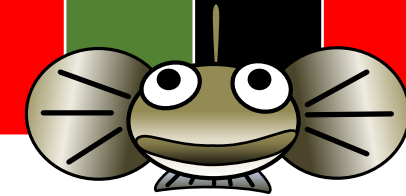
生物データの一元化・ 体系的な取得をしよう

生き物一斉調査・シンポの実施
(うなぎ調査)

第5回：環境評価
第6回：これから

新たな課題に対する対話の場をつくろう

「海のイドバタ会議」を実施しよう
継続的に話していこう



江戸前勉強会2022(11/25)のふいかえい

- 東京湾再生のモニタリング体制について
- フラントンから見た東京湾の環境変遷



Webサイト
coastcard.jp

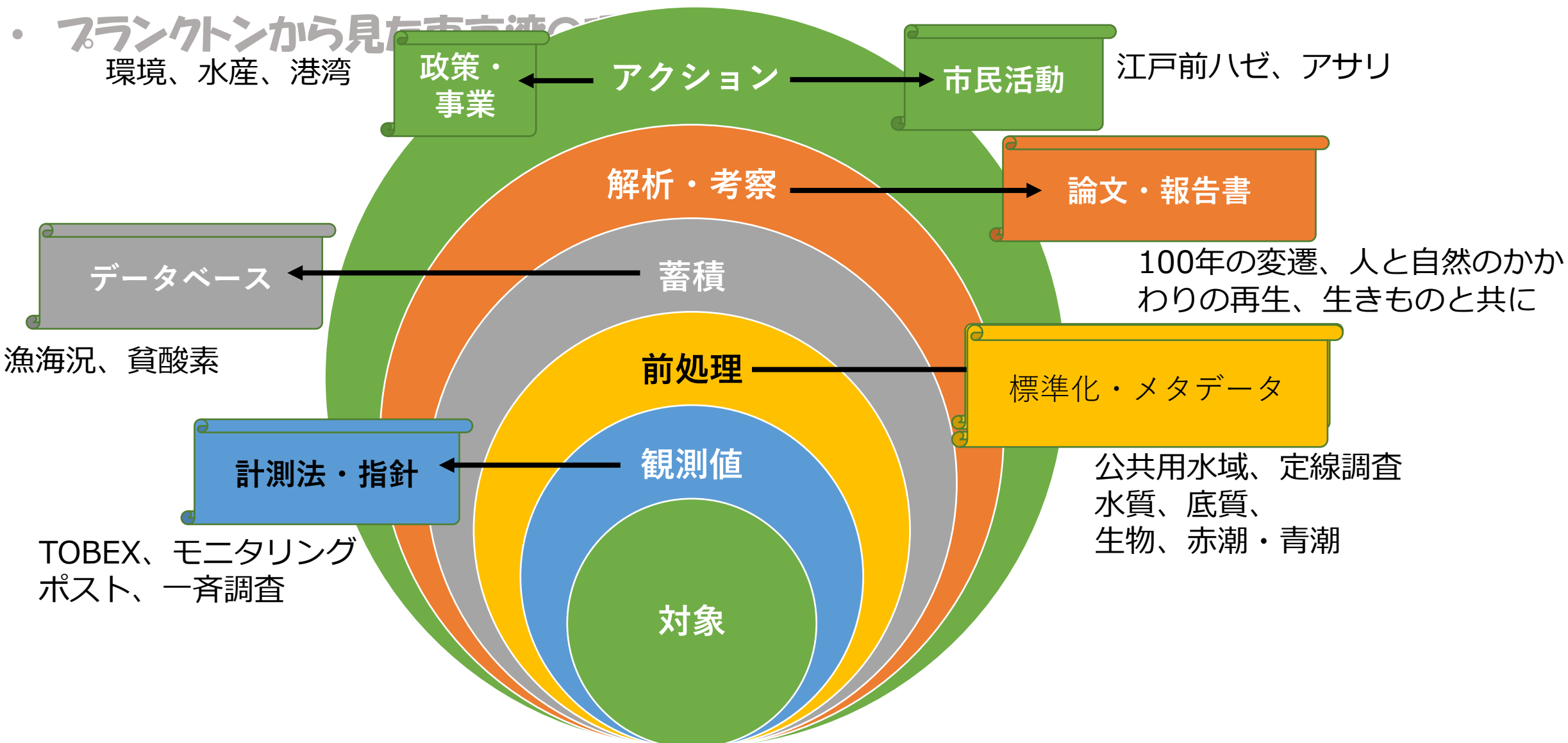
勉強会の目標

- 目標を定め行動につなげる
 - 大きな再生目標(ビジョン)の再確認 → 行動の具体化
 - 行動する主体となる、幅広い関係者(ステークホルダー)のネットワークの強化

江戸前勉強会2022(11/25)のふいかえり

・ 東京湾再生のモニタリング体制について

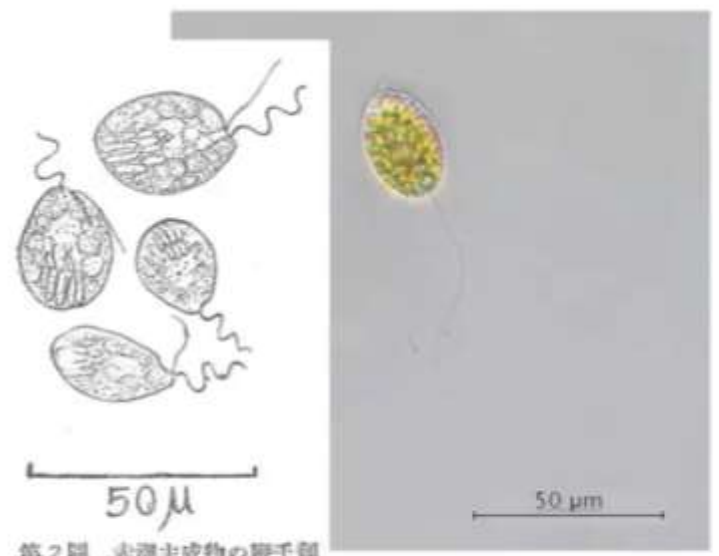
・ フラクトンから見た東京湾の再生
環境、水産、港湾



江戸前勉強会2022(11/25)のふいかえり

- 東京湾再生のモニタリング体制について
- プランクトンから見た東京湾の環境変遷

プランクトンからみた現在の東京湾
 → 昔に戻りつつある!?!?
 (断定はできないですが、)



第2圖 赤潮主成物の根毛類

金澤養牡蛎場に襲来した赤潮に就て
 宮崎1934



赤潮に就て
 岡村 1916

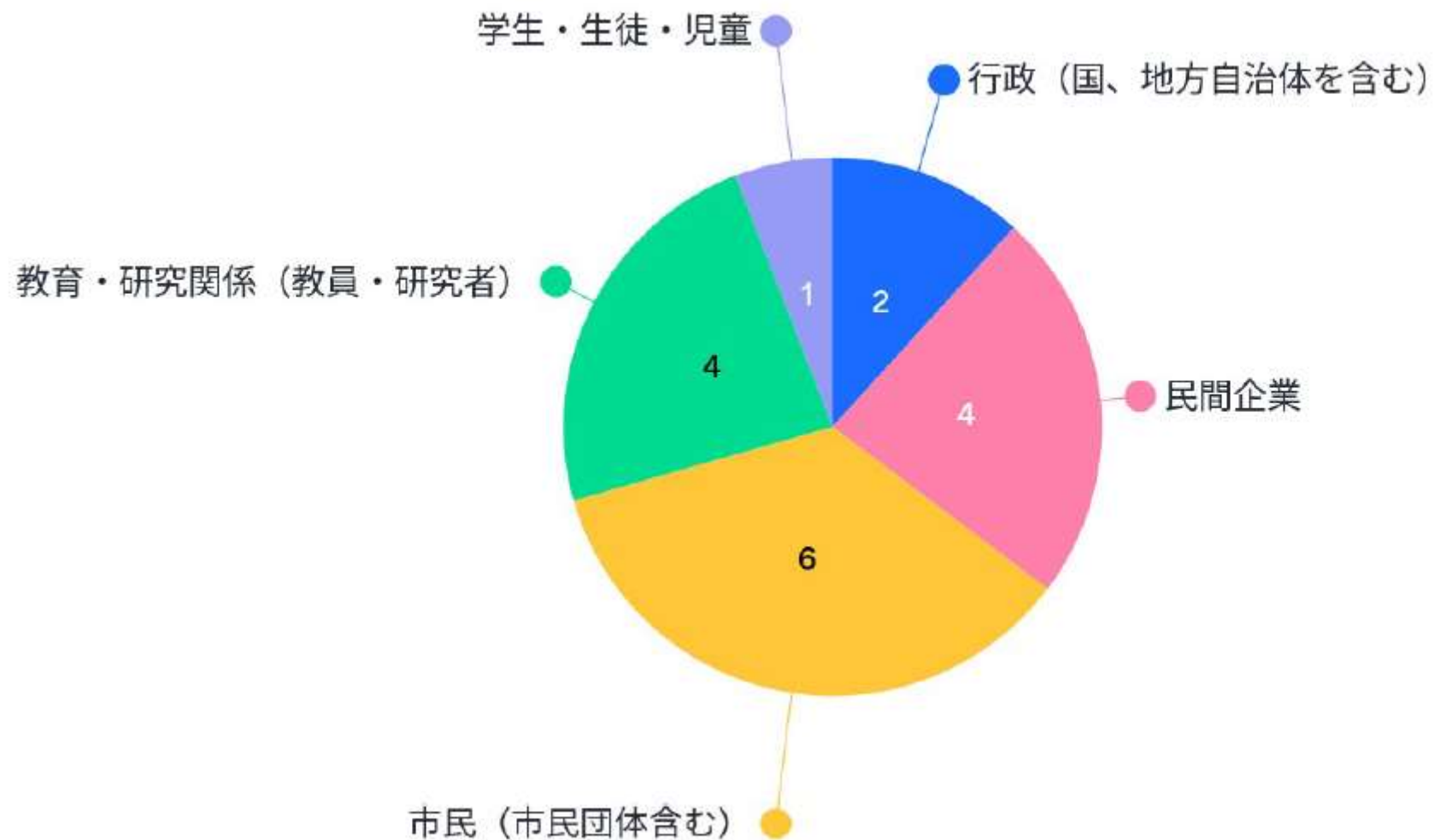
1910年代に時々赤潮
 を起こしていた。
 高度経済成長期に見
 られなくなったが、
 2015年以降、再び出
 現。



片野 俊也

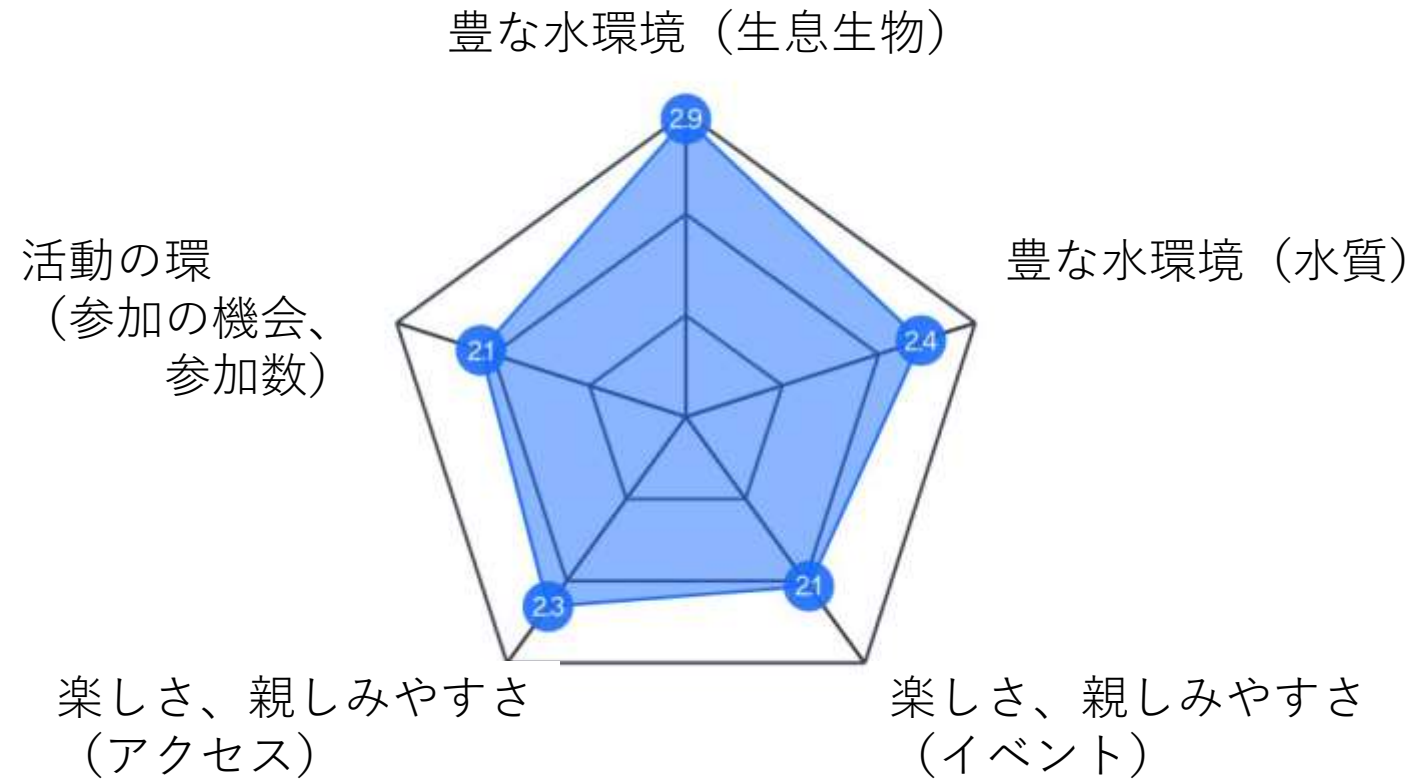
意見交換

- 今回ご参加のみなさまのご所属



意見交換

- 重要なモニタリング項目



意見交換

- 増やすとしたら、どんなモニタリング項目？

より高頻度での各種モニタリング

東京湾に関わる施設の利用者

釣り船（遊漁船）の漁獲量

海ゴミの種類 物理環境（流況）

連続観測 海の色 釣り

動植物プランクトン 東京湾の魚種

一般向けに、海に興味を持つ理由

ある種の生物モニタリング

出水時の栄養塩等の負荷量

埋蔵性

市民によるプランクトン・水質に注目した調査

より沿岸近くや河口のごく近くでの水質調査

東京湾に触れられる施設の来客層

漁獲高（生産力の指標）

漁獲努力と漁獲位置

意見交換

- ・モニタリングの活用について

一般の人、特に拡散能力の高い学生をターゲットにしたTikTokなどのSNSを利用したコンテンツ（都市伝説的な）を提供する

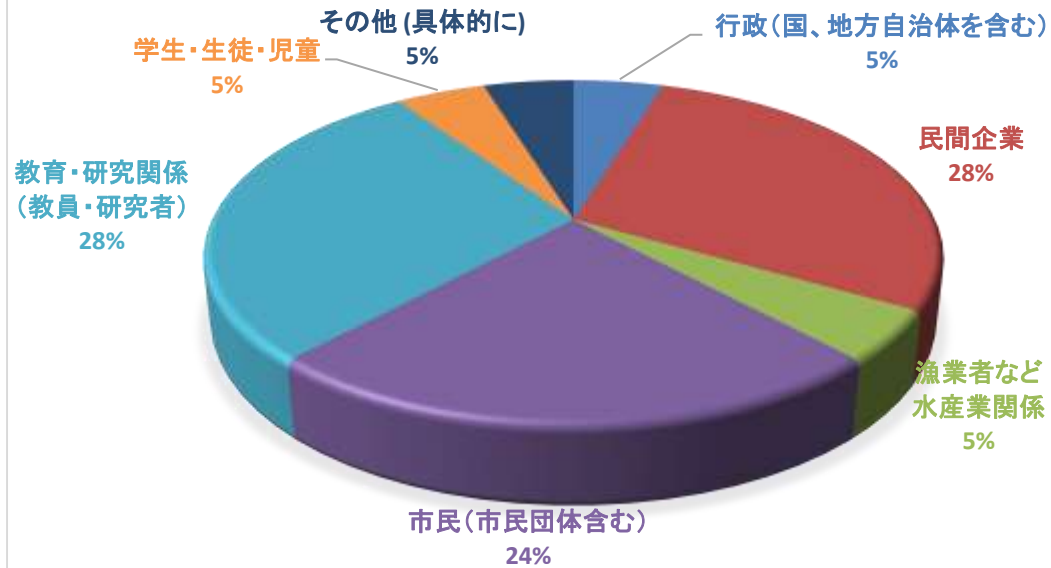
釣り雑誌や、アウトドア雑誌、学習雑誌などに成果を発信する（そうした事例が無いわけではないが、少ない気がします）

近年赤潮に関する報道が増えていること、また富栄養化との関係などについても学校である程度教えられていることから、一般市民にそのまま現状を共有しても一定数の人には理解して環境政策・ボランティアなどに関心を持ってもらえる気がしている。その際、現状でもデータベースはよく整理されているように思うので、まずはデータベースにどこからアクセスできるのかを横断的にまとめたフォームやパンフがあってもいい気がする。

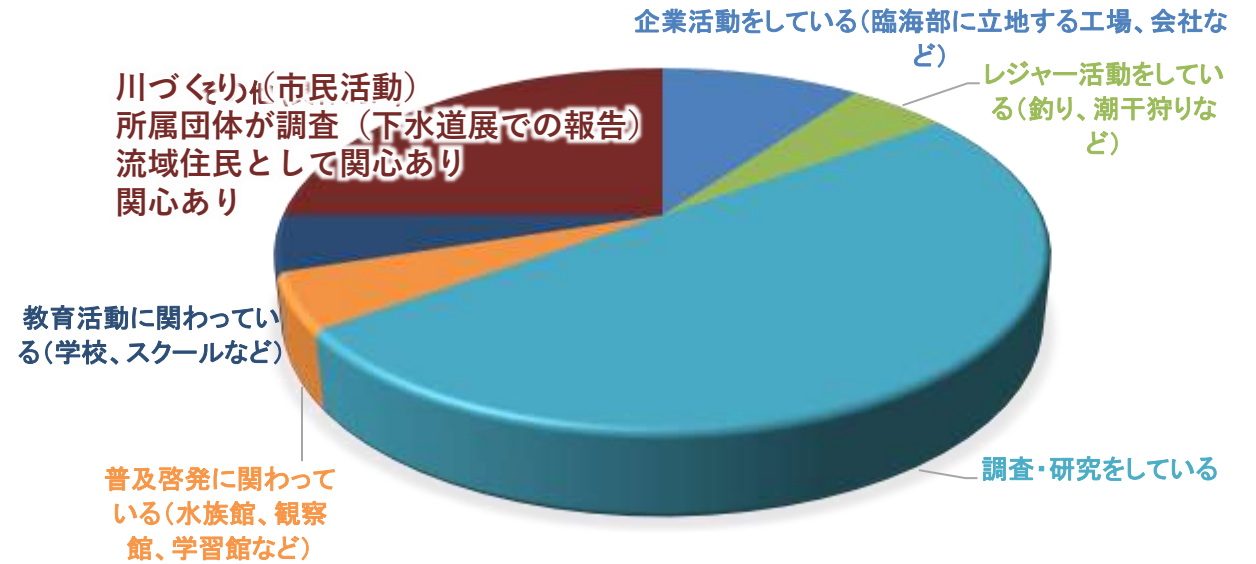
江戸前勉強会2022 第2回の参加予定者

参加者について（2022.11.24現在／事前アンケート分）

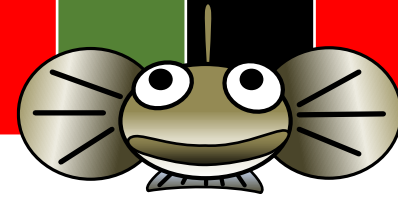
ご自身のご所属を教えてください



ご自身と東京湾の関連性について教えてください（複数回答可）



第3回



江戸前勉強会2022

- はじめに

「第2回の振り返りと、参加の皆様について」

(古川恵太)

- **話題提供**

生き物生息場づくり (佐々木淳さん 東京大学)

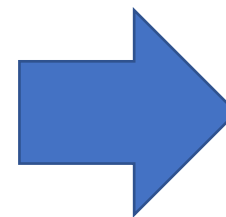
水産・漁業の視点 (児玉真史さん 水研機構)

生物モニタリングについて

(風呂田利夫さん よくする会・おせっ会)

- 意見交換

- おわりに



個別の資料をご提供
いただいております。
Webページよりご参
照ください。

第3回



江戸前勉強会2022

- はじめに

「第2回の振り返りと、参加の皆様について」

(古川恵太)

- 話題提供

生き物生息場づくり (佐々木淳さん 東京大学)

水産・漁業の視点 (児玉真史さん 水研機構)

生物モニタリングについて

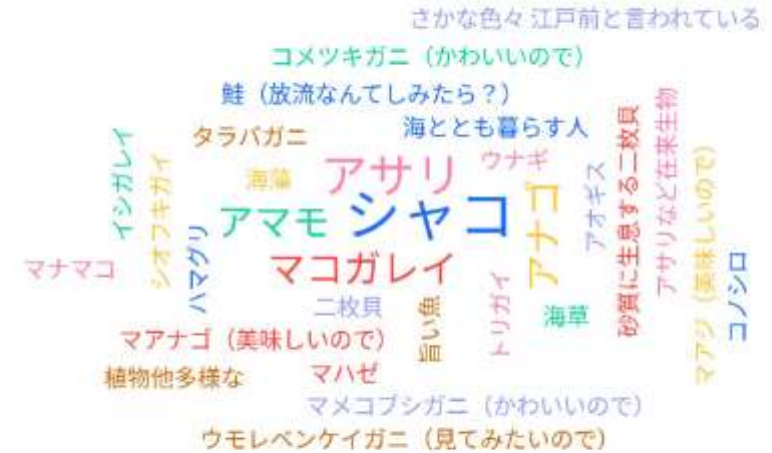
(風呂田利夫さん よくする会・おせっ会)

- 意見交換

- おわりに

東京湾においてほしい生き物は何ですか？

ご所属を教えてください（入力の練習を兼ねて）



生き物の生息場づくりについてご意見をどうぞ

浅場、干潟を広げて欲しい！

できることからやってみる

三番瀬養魚の、密漁者が毎年死ぬだけの元航路の隅のほうを埋め立ててアマモ場にするのはどうか

国交相の生物共生護岸のような言葉だけの構造物ではなく、生物を第一に考えた構造物を考える必要がある。特に漁師が容易に維持管理の出来る深瀬の設置がよいと思う。環境は違うが陸奥湾、鹿児島湾などの似たような湾と比較検討するのは面白いと思う。

運河の利用（浅場など）

テトラポッドがある海岸線は、浅場、干潟にできないものでしょうか？

東京湾の砂浜の海岸（ビーチ）を作って欲しい。

行政と市民が取り組めるような取り組みが何かできればいいかと思っています。

・埋立地の護岸の後退による生息場づくり・貧酸素の抑制に有効な底面の高上げ（マウンド造成）による生息場づくり

自然界で不必要な現象はない、と思います。これまでの人為により損なってしまった自然界の歯車を、組み直す仕事は次世代のためになるものであり、為さねばなりません。どのような仕組みであったかを探るために過去の東京湾の姿を描き出すこと、どのような人為がなされたかを「悪者探し」の視点ではなく検証することが重要です。この視点でもって、様々な事業者の環境影響評価の元データを収集しましょう。そして、改善策が出てきたら、環境財産を高めるための行動であることから、速やかに現地で試してみましよう。

ご参加の皆さんで記念写真

